

# 会瀬 フォトリポート

会瀬学区 HP [http://www.net1.jway.ne.jp/com\\*osc06/](http://www.net1.jway.ne.jp/com*osc06/)

## 第205号

発行責任者：柴田 和彦  
編集責任者：皆川 直司  
電話：会瀬交流センター  
0294-25-1577  
印刷：大成印刷(株)

### 平成28年 謹賀新年



明けましておめでとうございます。  
会瀬学区のみなさまには、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年は、東日本大震災の教訓を忘れずに災害に強い安全、安心なコミュニティ推進のため、地域住民から要望のあった「津波から身を守る」対策を重点に取り組んだ一年でした。特に、地域活動の拠点であります会瀬交流センターや、隣接する会瀬青少年の家には、年間を通じて約6万人近くの人が利用しています。その人たちの「津波避難通路（かんしよの坂）」の改修が急がれていましたが改善が図られました。また、学区指定災害避難所会瀬小学校には、防災倉庫が完備され、非常時の対応が一段と強化されました。  
今年も、地域高齢化社会のなかで懸案であった、再生資源集積所の立ち当番が当番者の負担を少なくする方向で検討されて、4月から再スタートします。  
会瀬交流センターは、コミュニティ活動拠点であるとともに多様なサークル活動が出来る場として利用されてから今年で10周年を迎えることになりました。  
学区内各種団体の活動がより活発になり、交流センターが多くのの方々にご利用して頂けるよう管理運営を円滑に進めてまいります。  
本年も皆様にとってよい年でありますことを祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



### 新年のご挨拶

会瀬学区コミュニティ推進会  
会長 柴田 和彦

## \*\*お知らせ\*\*

### 第二十六回 「浜の焚きあげ祭」のご案内

地域の皆様のふれあいを深め、一人一人の健康と安全安心を願い、子どもたちの健全育成を祈る「浜の焚きあげ祭」も二十六回を迎えます。今回も会瀬小学校の理解と協力によりまして授業の一環とし全校生徒が参加した行事となりました。児童たちの健康と安全を考慮して昨年と同様時間を早めて計画しています冬の午後浜辺で子どもたちの元気な姿を見てください。高潮予防の土のうが大量に砂浜にありますので注意してください。  
期日 平成二十八年一月十五日 金曜日  
悪天候の時は順延

場所 会瀬青少年の家グラウンド  
主催 会瀬学区コミュニティ推進会  
協力 会瀬小学校・同P→A・子ども会育連合会・日立第四消防団  
日程 小学生  
午前中 普通授業 雨天の場合は不参加で普通事業  
十三時四十分 会場到着 先生の指導で凧揚げ見学  
十四時十五分 炊きあげ祭 開始  
二十五分 点火 浜太鼓見学  
十五時十分 通学班で自宅へ  
地域の方々 十五時以降は大人の時間  
\*一月十四日(木) 午前中に祭壇を作ります  
正午以後に焚きあげる物をご持参ください。  
焚きあげる物 しめかざり、門松、しめなわ、飾り松、神社のお札、お守り、だるま等  
その他正月の飾りもの、書き初めの反古紙等。  
交流会 甘酒、お茶、漬け物、ジュース類は用意します。  
酒類は各自ご持参下さい。  
消火 十七時に消火します。



おもちゃライブラリー 1・2・3月開催  
金曜日  
9時30分～11時30分  
1月 8日 2月 5日 3月 4日  
15日 12日 11日  
22日 19日 18日  
26日 25日  
会瀬交流センター 電話 25-1577



健康料理教室 参加者募集  
～減塩食で生活習慣病予防～  
日時 平成28年1月13日(水)  
10時開始  
場所 会瀬交流センター  
会費 ひとり200円  
持ち物 米(0.5合)電卓・三角巾  
みそ汁(半カップ)・エプロン  
内容 ・野菜かきあげ丼  
・梅にんにくふろふき大根  
募集人数 若干名  
申込み先 直接電話で  
会瀬交流センター ☎25-1577  
【問い合わせ】  
会瀬地区食生活改善推進委員  
須田 恵 ☎22-3393

ママさんバレー3おめでとう!  
第42回 日立地区ソフトボール大会 期日：平成27年11月22日(日)  
場所：市立助小グラウンド 参加学区：助川・仲町・宮田・中小路・会瀬  
主催：日立地区体育振興会 PTA会員を中心に地域の方々に参加して見事  
★ママさんチーム 優勝  
☆パパさんチーム 3位(3位決定戦でさよなら勝ち) おめでとう

交流センター 年末年始  
休館日のお知らせ  
12月29日(火) から  
1月3日(日) まで  
休館日となります  
【問い合わせ】☎ 25-1577  
会瀬交流センター運営委員会  
【編集後記】  
地域と密接な繋がりがあった二巨星が姿を消しました。業績は消える事はありません。

### 日立市コミュニティ推進協議会 設立四〇周年記念式典活動推進功労者表彰

十一月十四日(土)午後一時から日立市コミュニティ推進協議会の設立  
四〇周年記念式典・講演会がシビックセンター音楽ホールにて行われました。  
記念式典でコミュニティ活動功労者表彰が行われ、当学区から次の  
方々が受賞されました。

◎コミュニティ活動特別功労者表彰

(推進協議会会長及び二十年以上単会会長を務められた方)

柴田 和彦 会長

◎コミュニティ活動推進功労者

・皆川 直司氏・松本 俊一氏・白土 孝信氏・佐藤 捨松氏  
ホールロビーでは二十三コミュニティの活動紹介のパネル展示。  
功労者表彰後、事例(活動)発表続いて講演会では、フリーキャスター  
(元NHKアナウンサー)押尾正明氏による「あなたが主役でまちが  
輝く」地域の底力のヒミツ」と題して、事例を交えながらの講演でした。

### 福祉功労者が顕彰されました

◎日立市社会福祉協議会会長顕彰

平成二十七年十一月十一日、日立市社会福祉協議会の「ふくしの  
つどい」が、ゆうゆう十王Jホールに於いて開催され、多年にわたり  
地域福祉活動を実践されて、社会福祉の発展に寄与された功労者が  
顕彰されました。

会瀬学区からは、左記の三名の方々が顕彰されました。

◎社会福祉団体役員功労者(在職十年以上)

松本 俊一氏(前・学区社会福祉協議会副会長)

菊地 智子氏(おもちやライブラリー委員長)

◎社会福祉活動協力援護者(在職五年以上)

寺山 啓子氏(サロン活動)

### 還付金詐欺に注意!

『還付金があるからATMを操作して』は詐欺です

### ふるさと会瀬から 会瀬村の寺や神社 その一

郷土博物館館長小松徳年氏(助川中第9回卒)著の「水戸藩の政  
治と庶民の動向」には徳川光圀や徳川斉昭の社寺改革について記さ  
れているが、会瀬に関係する興味あることが多いので紹介する。

江戸時代の初期、寛文3年(1663年)水戸藩が村々に命じて作成さ  
れた「開基帳」に寺院や神社の一覧がある。会瀬村になる前の相賀  
村は、現在の会瀬一丁目付近に集落があるだけの小さな村だった。  
村には六つもの寺があった。格式が高かったのは真言宗・海照山秀  
行院 福聚寺で、十王町友部の法鷲院の末寺である。所在地は日立  
製作所日立事業所本館あたりであった。その他に法鷲院の信徒が開  
山した修住院 福性院 成就院があり、福聚寺の信徒鏡存が開いた  
寺もあり、山伏常力の寺もあった。いずれもどこに在ったかは不明  
である。

神社は羽黒神社・鹿島明神・富士神社・天神社・津明神が存在し  
た。司祭者は前記の修住院や福性院などの僧侶であり神仏習合(混  
淆)の世であった。

水戸藩第二代藩主徳川光圀は寛文6年(1666年)神仏習合を改め、  
正しい神社崇敬を進めるとともに、寺の乱立により民衆の生活に弊  
害が及んでいるのを除去し、秩序ある宗教制度にしようと改革を  
実施した。寺については無益な小寺は破却する方針で、破却の条件を  
示し一つ一つの寺が点検された。その結果、相賀村では福性院・成  
就院は僧が死亡後破却され、鏡存は僧から一般人になった。この改  
革により日立地方の179寺のうち106寺が整理され処分された。  
神社の改革の内容は一村一社の鎮守制・仏像を神道的な神体(幣、  
鏡)にする・司祭者を僧侶から神職に代える、などだった。この改  
革により元禄8年(1695年)相賀村の鎮守の神社は鹿島明神になった。  
その際、神体であった仏像が取り上げられ幣(幣束とか御幣ともい  
う。神社でお祓いの際使用する)が神体になった。

司祭者は成沢村の瀬谷長門である。現在の会瀬鹿島神社・成沢鹿島  
神社の神官の先祖であるが、この当時は瀬谷長門守義次と名乗って  
いた。しかし同じ元禄8年に徳川光圀は宮田村の神峰神社に参拝し、  
神峰神社を宮田村、助川村、相賀村の鎮守とした。

### コミュニティ助成事業

学区コミュニティでは、27年度一般財団法人  
自治総合センター(コミュニティ助成事業)に会瀬小学校に  
設置してある防災備蓄倉庫の破損(校庭工事の際仮置き中強  
風転倒)により防災関係の備品の保管が困難となり助成申請  
し、新しく倉庫を設置しました。

また、倉庫の整備及び備品の  
充足として、救護・機器運搬に  
リヤカー、4輪台車を購入し  
10月31日自主防災訓練時に  
活用披露しました。



### 小川医院 小川 清先生逝去 平成27年10月15日享年89

11月28日に開催された、お別れ会において地元住民を代表しお別れ  
の言葉を述べた今橋孝行氏の追悼文です。

小川先生と会瀬学区住民とのかかわりは身近な医療機関としてだ  
けでなく、健康相談や食事相談そして会瀬小学校の校医としての健  
康教育と多岐にわたってのご活躍本当にありがとうございました。  
奥様の英子先生が相賀町に診療所を昭和29年に開設、31年小川医院  
を小川清先生が院長として開院しました。以来60年にわたり奥様の  
英子先生とお嬢様の百合子先生ともども医療の道を歩んでこられま  
した。このお姿は小川先生が常日頃提唱されていた「地域医療の確  
立」そのものであります。県や日立市の医師会長として多くの業績  
を残されました。日立メディカルセンター設立と看護師養成に取り  
組まれたことは特筆すべきことであります。

小川先生のふるさとである会瀬の発展にも大きな貢献を果たして  
おります。会瀬港を中心とした海浜開発、池の川下水道浄化センタ  
ーの建設、会瀬青少年の家設置、会瀬交流センターの建設、会瀬小  
学校の改築、会瀬鹿島神社の改築など地域とのかかわりに大きな力  
を發揮されました。地域の行事に活躍する若者にも暖かい手を差し  
伸べていただき対外的に高い評価を得ているのも先生のお力の賜物  
であります。

6号バイパスの南進により変貌する会瀬の姿をお見せできないの  
が残念ですが、どうか天空よりご支援ください

小川先生が目指した「地域医療の確立」の志は小川百合子先生と  
医院のスタッフのみなさまの力でさらに大きな花を咲かせることで  
しょう。小川清先生、長い間ありがとうございました。

### 助川村の鹿島明神と相賀村の鹿島明神は廃社となっていました。

村人の信仰のよりどころを失った助川村や相賀村では、毎年よう  
に伝染病が流行り、不漁不作が続いた。村では原因を、神を軽んじあ  
りなどためたためと思ひ込んだ。徳川光圀が没(1700年)してから村民が鹿  
島明神の再建を水戸藩に請願した結果、元禄15年(1702年)10月に会瀬  
村(1698年に相賀村から会瀬村に改称)と助川村の鎮守として鹿島明神  
が再建された。

会瀬鹿島明神は現在の会瀬町1丁目3番地に鎮座していた。中世の  
車館跡の東側で村を一望する高台にあり、村の「ちんじゅさま」とし  
てあがめられていた。明治以後、村社として「鹿島神社」と云われる  
ようになった。

### 瀬谷義彦先生逝去

平成27年11月20日逝去、大正3年生まれで101歳でした。

昭和23年(1948年)から平成7年(1995年)まで会瀬・成沢鹿島神社宮司。  
茨城大学名誉教授(日本史)・日立市名誉市民。住所 中成沢町2丁目  
日立市史(昭和34年発行)の編さん委員として編集・執筆に携わり  
茨城県では最初の市史として出版しました。特に第4章「日立地方に  
おける教育の発達」では明治5年の学校教育制度により誕生した小学  
校開設の状況が詳細に記されています。明治6年に開業した成沢小学  
校は教師は神官瀬谷登之介で義彦先生の祖父。  
「会瀬旧述」の瀬谷義文の祖先。